

「第21回すぱっくこども大会」延期のおしらせとおねがい

こんにちは。SPACの宮城 聰です。

みなさんいろいろ初めてのことが多くて、たいへんな毎日をおくっていらっしゃると思います。

SPACはこれまで、出演者のみなさんがこども大会での発表をめざしていっしょうけんめい努力していることになんとかこたえたいと考え、予定どおりの日程(3/21~22)でこども大会をかいさいするじゅんぴを進めてまいりました。そしてあと一週間となったきょう、あらためてけんとういたしました。

いま、日本国内での新型コロナウイルスのようすは、いろいろな対策によって、ばくはつてきな感染拡大はおきておらず、また、新型コロナウイルスの毒性も、日本の医療かんきょうにおいては、インフルエンザ以上におそろしいものではないと考えられるようになってきました。

しかし国外においては、特にヨーロッパやアメリカでいままさに感染が拡大しており、ひとびとの不安があおられ、日本のウィルス対策が注目されています。

こうしたなか、日本は、もうしばらくは「いまと同じレベルの対策」をとりつづけることが、海外からの信頼をえることにやくだつと思われまます。

そして4月からの新年度には、じょじょにもとどおりの活動にもどしてゆくことで、「おちついて対応しよう」というメッセージを、日本から世界に発信できると思っています。

さて、いまがこのような時期だとすると、こども大会を例年どおりのやりかたで来週末に実施することはむずかしいとSPACははんだんいたしました。また、こども大会でもっともだいじなのが「観客のみなさんが舞台上の出演者をささえること」ですので、「無観客」での実施もありえないと考えました。

そこで、5月23日・24日に延期して、実施しようと思えます。

今回出演予定のみなさんは、5月に中学生になっているかたも、出演していただけます。

来週末をもくひょうにガンバってきたみなさんはちょっとひょうしぬけですね、もうしわけありません。でも、あらたなもくひょうを設定して、ぜひ、5月23日・24日にさいこうのパフォーマンスをひろうしてください。

出演者、および保護者のみなさんが、わたしたちのこのはんだんを理解してくださり、うけいれてくださることを、心からおねがいたします。

2020年3月14日

SPAC 芸術総監督

宮城 聰